

記者の声



越智小夏

3月、カンボジアで現地のキリロム科大学リントン地を運営する企業のインターンシップに1カ月間参加した。同大学の学生や現地のスタッフと交流する中で感じたのが、世界にはいろいろな英語があり、地域ごとに発音に大きな特徴があるということだ。世界を英語を話す約18億人のうち、母語として話す人は約14億人しかいない。残りは約4億人しかいない。残りは約4億人しかいない。残りは約4億人しかいない。

国際社会 カンボジアで感じた英語の違い 発音の特徴知り相互理解を

カンボジアで感じた英語の違い。発音の特徴を知り、相互理解を深めよう。カンボジアで感じた英語の違い。発音の特徴を知り、相互理解を深めよう。カンボジアで感じた英語の違い。発音の特徴を知り、相互理解を深めよう。

筑波時評

関東各地で地震活動が活発になると首都直下地震への不安が高まるように感じます。首都直下地震は、今後30年間で70%の確率で発生するとされているので、その前触れはないかと心配するのは当然かもしれません。2011年東北地方太平洋沖地震後、首都直下地震が発生する確率が4年以内に70%と発表された時は、社会が騒が

首都直下地震 「30年間で70%」が一人歩き 実態の正確な理解が重要

関東に住んでいる何かと心配になる首都直下地震ですが、1999年兵庫県南部地震のようなど、破壊的な地震動に伴うような直下型地震が東芝や三菱電機の工場などで発生する可能性が指摘されています。この様な地震が首都直下地震として観測されているかを調べて見ると、東京湾近海で発生しているように思



八木勇治 教授 (地震学)

生命環境系 教授。2000年東京大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻博士課程修了。博士理学。建築研究所研究員、筑波大学大学院生命環境科学研究科助教、同僚教授を経て、18年より現職。

反射鏡

新歓の思い出

新入生が入学する4月。大学は学類やサークルなどの新入生歓迎会(新歓)一色に染まる。新入生は初めて見る世界に目を輝かし、上級生は「配りや各サークルの企画に目撃されるそんな春を彩る新歓。その思い出を中央図書館の石の広場周辺に聞いた(森賀遼太) 社会学類2年 津内早紀 教育学類1年

【社会学類2年 男性】 入学してすぐの頃、新歓のため新歓には参加しなくて済むが毎日たくさん食ったが、部活動に入って事行けて行って、先輩と食事に行き、新入生の懐の余裕や新歓の雰囲気を知ることができて体感が8割増えした。 【人文4年 女性】 3年生の時、少人数のサークルだったため必死にフットサルサークルの新歓に行き、わが校で例年以上に新入生が加入して、仲良くなるようになった。 【社会学類2年 男性】 今年の新歓で新入生の履修相談をした。主専攻に追加させてくれたのも、新歓で説明ができたのも加算する部活動が事前

伝統を考える

4月4日、大相撲の煮賣の土俵上、あいつを倒した舞踏長が倒れた際に、日本相撲協会が救命中の女性に土俵の上から降りるように促し、物議を醸した。その音源は「女人禁制」という俗がある。一方で、時代の流れにより現代に合わない伝統の存在も指摘されている。筑波大学は伝統についてどのように考えているのか。中央図書館で聞いた。(森賀遼太) 社会学類1年 中村瑞歩 同2年



【社会学類2年 女性】 新入生が入学する4月、大学は学類やサークルなどの新入生歓迎会(新歓)一色に染まる。新入生は初めて見る世界に目を輝かし、上級生は「配りや各サークルの企画に目撃されるそんな春を彩る新歓。その思い出を中央図書館の石の広場周辺に聞いた(森賀遼太) 社会学類2年 津内早紀 教育学類1年

【社会学類2年 女性】 新入生が入学する4月、大学は学類やサークルなどの新入生歓迎会(新歓)一色に染まる。新入生は初めて見る世界に目を輝かし、上級生は「配りや各サークルの企画に目撃されるそんな春を彩る新歓。その思い出を中央図書館の石の広場周辺に聞いた(森賀遼太) 社会学類2年 津内早紀 教育学類1年

吹奏楽団新入生歓迎コンサート 新入生参加し一体感



美しい音色を披露する部員ら (4月27日、大学会館で)

定番曲「宝島」も披露

筑波大学吹奏楽団の新入生歓迎コンサートが4月27日、大学会館で行われ、春の訪れを感じさせる華やかな音色に新入生が目を傾けた。

「オメン・ス・オ・ラ」の響き。吹奏の作曲が毎年、新入生歓迎コンサートで演奏する曲。同楽団が事前にSNSなどで「一緒に演奏しよう」と呼びかけ、これを尻込みにまていく軽快なテンポが自ら楽器を弾き込みに、体を揺らしながら聴き入る観客もいた。

写真部さくら組 力作13点ぞろぞろ 情報学群知能情報・図書情報類の前身、図書情報部で発足したサークル「写真部さくら組」の作品展「新歓展」が4月9・26日(土)・A棟で行われ、部員5人の作品全13点が展示された。写真部さくら組は図書情報部と筑波大との統合後、今も活動を続けている。

代表の大場勇貴さん(知能情報3年)が「写真とは何か」と題して、同展で話そうと、同展では「写真のテーマがない。飛行機や部員の多様な視点からテーマが縛られない柔軟さが表現されている」と話した。



大場さんの作品「限定」(4月26日、7A棟で)

「絶対音感」は休まじし。話した。鈴木瑞穂(写真部)は「絶対音感」は休まじしと話した。

「新歓」人波に見惚れてしまふ新歓期

大学の風物詩の一つといえる新歓。あちこちで高鳴るを呼び込む新歓の気配を見かけて新年度の訪れを感じるのは新入生だけでなくあるまじく、各サークルが思い思いの方法で宣言を熱気にあられるのは気が付かない。歳時記には載っていないがそんなわけで、今回は「新歓」を季節にして歌んでみた。

大学が風物詩の一つといえる新歓。あちこちで高鳴るを呼び込む新歓の気配を見かけて新年度の訪れを感じるのは新入生だけでなくあるまじく、各サークルが思い思いの方法で宣言を熱気にあられるのは気が付かない。歳時記には載っていないがそんなわけで、今回は「新歓」を季節にして歌んでみた。

力強い歌声 会場に響く

アカペラバンド28組が参加



「唱門来福」の文字を背に、美しい歌声を披露する「Clap*Clap」(4月22日、3A棟で)

アカペラバンド「Do」が4月22日3A棟で「Do」の春ライブを開催された。今回は新入生向けに毎年開催してお

約700人の観客を魅了

管弦楽団の第83回定期演奏会が5月6日、ノバホール(つくば市音楽)で開かれた。今回は、オケストラと映画の劇中音の指揮を務める佐々木毅氏が指揮者として、約700人の観客を魅了した。

2曲目は「交響曲第1番」ホ短調。作品39。第1楽章ではラリネットや弦楽器の第2楽章ではタイオリンやチェロが観客を魅了した。

秋山学 教授(古典古代学)

人文社会系 教授。東京大学大学院総合文化研究科修了。同大教授。『梵学津梁』を著す。

『梵学津梁』研究を大成

『梵学津梁』高野聖所蔵版。『梵学津梁』高野聖所蔵版。『梵学津梁』高野聖所蔵版。『梵学津梁』高野聖所蔵版。

『梵学津梁』高野聖所蔵版。『梵学津梁』高野聖所蔵版。『梵学津梁』高野聖所蔵版。『梵学津梁』高野聖所蔵版。

関東大学春季リーグ戦 女子全勝で2季ぶり優勝



エースとして筑波大を優勝に導いた安田(5月3日、早稲田大戦で)

【日本体育大学発表】キヤンパス(横浜青葉区)で明治尚之II体育専門部3年(写真左)6大学が争う関東大学春季リーグ戦が4月28日から5月4日行われた。女子は筑波大が全勝で2季ぶり優勝を果たし、男子は早稲田大が優勝した。また、安田空(体専3年)がシングルス、ダブルスを合わせた10戦を全勝で終え、最優秀選手を受賞した。

安田がMVPに

【日本体育大学発表】キヤンパス(横浜青葉区)で明治尚之II体育専門部3年(写真左)6大学が争う関東大学春季リーグ戦が4月28日から5月4日行われた。女子は筑波大が全勝で2季ぶり優勝を果たし、男子は早稲田大が優勝した。また、安田空(体専3年)がシングルス、ダブルスを合わせた10戦を全勝で終え、最優秀選手を受賞した。

だが、要所で丁寧なプレーで得点を重ね、2-0で初戦を制した。第2シングルスでは香山未帆(同2年)が松本西早稲田大と対戦。第2ゲームは3-1で勝利した。安田は「昨年では先輩に頼ってしまっただけだったが、今年は自分が負けられない気持ちで頑張りました。特に安田は昨年とは異なる自分の立場を理解し、高いパフォーマンスを発揮してくれた」と語った。



相手選手と競り合い、ゴールに迫る三苦(4月7日、明治大戦で)

開幕から苦戦続く 現在6位に低迷

サッカー

【味の素フィールド西が丘(東京都北区)で】筑波大は、関東大学春季リーグ戦が4月7日から開幕し、筑波大は2勝分の敗で6位に低迷している(5月6日現在)。

優勝向け正念場

【味の素フィールド西が丘(東京都北区)で】筑波大は、関東大学春季リーグ戦が4月7日から開幕し、筑波大は2勝分の敗で6位に低迷している(5月6日現在)。

関東大学リーグ戦

【味の素フィールド西が丘(東京都北区)で】筑波大は、関東大学春季リーグ戦が4月7日から開幕し、筑波大は2勝分の敗で6位に低迷している(5月6日現在)。

早稲田大に惜敗 ハンド

【日本体育大学発表】キヤンパス(横浜青葉区)で明治尚之II体育専門部3年(写真左)6大学が争う関東大学春季リーグ戦が4月28日から5月4日行われた。男子は早稲田大が優勝した。また、安田空(体専3年)がシングルス、ダブルスを合わせた10戦を全勝で終え、最優秀選手を受賞した。



シュートを放つ徳田(4月21日、早稲田大戦で) = 豊岡志雄撮影

ハンド

【日本体育大学発表】キヤンパス(横浜青葉区)で明治尚之II体育専門部3年(写真左)6大学が争う関東大学春季リーグ戦が4月28日から5月4日行われた。男子は早稲田大が優勝した。また、安田空(体専3年)がシングルス、ダブルスを合わせた10戦を全勝で終え、最優秀選手を受賞した。

「勝利へのこだわり」追求

【日本体育大学発表】キヤンパス(横浜青葉区)で明治尚之II体育専門部3年(写真左)6大学が争う関東大学春季リーグ戦が4月28日から5月4日行われた。男子は早稲田大が優勝した。また、安田空(体専3年)がシングルス、ダブルスを合わせた10戦を全勝で終え、最優秀選手を受賞した。

スポーツ顔

【日本体育大学発表】キヤンパス(横浜青葉区)で明治尚之II体育専門部3年(写真左)6大学が争う関東大学春季リーグ戦が4月28日から5月4日行われた。男子は早稲田大が優勝した。また、安田空(体専3年)がシングルス、ダブルスを合わせた10戦を全勝で終え、最優秀選手を受賞した。

星子啓太(体専2年)

【日本体育大学発表】キヤンパス(横浜青葉区)で明治尚之II体育専門部3年(写真左)6大学が争う関東大学春季リーグ戦が4月28日から5月4日行われた。男子は早稲田大が優勝した。また、安田空(体専3年)がシングルス、ダブルスを合わせた10戦を全勝で終え、最優秀選手を受賞した。

道部

【日本体育大学発表】キヤンパス(横浜青葉区)で明治尚之II体育専門部3年(写真左)6大学が争う関東大学春季リーグ戦が4月28日から5月4日行われた。男子は早稲田大が優勝した。また、安田空(体専3年)がシングルス、ダブルスを合わせた10戦を全勝で終え、最優秀選手を受賞した。

【日本体育大学発表】キヤンパス(横浜青葉区)で明治尚之II体育専門部3年(写真左)6大学が争う関東大学春季リーグ戦が4月28日から5月4日行われた。男子は早稲田大が優勝した。また、安田空(体専3年)がシングルス、ダブルスを合わせた10戦を全勝で終え、最優秀選手を受賞した。

Who's Who?

AR分野の国際学会で最優秀論文賞を受賞

鈴木 一平 さん (メ創4年)



「研究は全く苦にならない」と笑う鈴木さん (4月18日、7A棟で) = 越智小夏撮影

落合陽一准教授(図情メ系)のデジタルネイチャー研究室で、カメラやディスプレイ(仮想現実)VR、人工知能など、最先端の分野を幅広く研究する。空中に映像を投影する技術に関する研究が拡張現実(AR)の権威ある国際学会で最優秀論文賞を受賞。昨年には研究の取り組みが評価され、日本学生支援機構の優秀学生顕彰大賞や学長表彰を受けた。

愛知縣出身。エンジニアの父の影響から幼少時にパソコンに触っており、タイピングやゲームしながら段々と技術を身につけていった。小学生の時、カメラを好きになった。「目の目で直接見るより世界が綺麗に見える」とに驚き、魅力はまった。お年玉はほとんどカメラにつぎ込んだ。友達と二画面の製作などを行い、撮影した映像をパソコンで

編集した。中学、高校では陸上部で長距離選手として活動したが、その方でカメラやパソコンへの情熱は止まらなかった。「ずっとパソコンとカメラを使ってみたい」。その思いから、映像制作やプログラミングなど広い学問領域を学べる筑波大学のメディア創成学類に進学することを決めた。

入学と同時に、後援教(当時)が筑波大に赴任。友達に誘われ研究室の説明会に行き、落合准教授の芸術と科学を組み合わせた最先端の研究に興味をもち、その時1〜3年次でも4年次のように研究が出来るARという制度を知り、研究室に入ることを決意。1年の5月、研究の世界に早く飛び込んだ。

最初に取り組んだのは「ドローンに積める空中ディスプレイの研究」。空中ディスプレイとは、スクリーン板ではなく空中に映像を投影する技術。現在は霧を出す装置から板状に放出した霧に映像を

研究は趣味の延長線 原点は大好きなカメラ

この研究を皮切りに多くの研究を行った。2年では、VR装置を頭部に装着し、実際の映像とVRに映る映像をすり替えることで人を誘導する研究など、幅広く研究を行った。それぞれの成果が認められ、昨年は日本学生支援機構の優秀学生顕彰大賞、学長表彰を受けた。研究室に入ってから、授業の

時間以外は研究室に籠もるほど研究に夢中になった。研究に自分の好きな事が詰まっていること、好きな事でも多く、霧を出す装置が大きい。簡単なものでは持ち運べず、風にも弱い。そうして欠点を解決するため、スロー1缶から霧を噴射するため提案。スロー1缶は小型で軽く、出る霧は風にも強い。映像を投影する上で最適なスロー1缶のモデルを調べるなど研究を重ね、「ドローンに積むことが可能なほど小型、軽量の空中ディスプレイを実現した。この研究が国際学会で最優秀論文賞を取り、「多くの人が知ってもらえる機会をもたえてほしい」と話した。

多くの研究を通して、これまで真意的に捉えた写真の美しさが、数式や構造で論理的に説明できることを知った。漠然とした「カメラが好き」という気持ち、歩きは気持ちがいいもの、鮮やかな感動。今後は大学院に入学して、大生活の気分転換に訪れたい。研究のきっかけであるカメラを使った研究やカメラのため「研究をしたい」と意気込む。

「研究によって可能性が広がった。何が出来るかわくわくする」と目を輝かす。

(建内亮太人文学類3年)

次号は 7月17日(火) 発行予定です

印刷・ヒラマ写真製版



卒業生がワインづくり

筑波山麓でブドウ栽培に取り組む今村さん (5月2日、つくば市白井で) = 秋田耕平撮影

学内総合

2面へ



関東大学春季大会

トライを狙い疾走する島田(5月5日、筑波大学ラグビー場で) = 明石尚之撮影

スポーツ

8面へ



関東大学選手権

ドリブルで相手を抜き去る山口 (5月6日、駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場で) = 明石尚之撮影

スポーツ

8面へ



筑波マリンダイビングクラブ

海中の洞窟を探索する部員ら (3月3日、沖縄県宮古島市沖で) = 同部提供

学生生活

11面へ

編集後記

12月の渡り廊の屋根の崩落引き続き、5月1日には最良棟棟梁幸夫さんが落下したとみられています(11面)。幸いですが人がはいりませんでした。このような事態が続くのが、安心して金生活を送れません。管理側との見直しを求められています。今号から読者アンケートを始めました(2面)。ご意見やご批判がよい紙面を作ります。また、「留面」の扉(10面)や「スポーツの顔」(9面)など、一部の連載記事も刷新しました。これらも、読者に寄り添った開かれた紙面を目指します。(編集長・秋田耕平) (社会系3年)

▼今号では新緑の筑波山を歩きました(3面)。冒険運動不足の私は23時の山道ですら疲れ果ててしまいました。また、初夏の山「カマ」が好きという気持ち、歩きは気持ちがいいもの、鮮やかな感動。今後は大学院に入学して、大生活の気分転換に訪れたい。研究のきっかけであるカメラを使った研究やカメラのため「研究をしたい」と意気込む。

▼今号では新緑の筑波山を歩きました(3面)。冒険運動不足の私は23時の山道ですら疲れ果ててしまいました。また、「留面」の扉(10面)や「スポーツの顔」(9面)など、一部の連載記事も刷新しました。これらも、読者に寄り添った開かれた紙面を目指します。(編集長・秋田耕平) (社会系3年)

編集・発行

筑波大学新聞編集委員会
 ▼委員長 土井隆寛(人文社会学系・教授) 田中佳彦(人文社会学系・教授) 政治学系
 ▼編集代表 福原直樹(筑波大学・教授) ジャーナリズム論 ▼編集長 秋田耕平(社会学系3年) ▼副編集長 越智小夏(比較文化学系3年) 益本健太(人文学系3年)

ほか編集委員18人

発行 筑波大学

印刷 ヒラマ写真製版